

平成 29 年度 多摩区地域包括ケアシステムの推進に向けた取組について

1. 菅地区、登戸地区、稲田地区の町内会・自治会ヒアリング調査について

中野島、生田の 2 地区でそれぞれ平成 28 年度にモデル事業による地域づくりを進めており、菅、登戸、稲田の 3 地区では本年度から町内会・自治会を対象としたヒアリング調査を行っています。地域包括ケアシステムの構築に向けた基礎資料の蓄積を目的として、地域の中心である町内会・自治会会長への聞き取り調査を進めています。

(実施概要)

対象：菅地区 1 町会 登戸地区 12 町会 稲田地区 8 町会

実施方法：みまもり支援センター職員（2～3名）が調査員となり、町内会・自治会会長に直接聞き取り調査を実施。（場所によって副会長や民生委員も参加）

ヒアリング項目：①地域の特徴や自慢できるところ

②町内会・自治会で力を入れて取り組んでいること

③今後取り組みたいこと

④地域の中での不便なこと、困りごと

⑤不便なこと、困りごとを解決するためのアイデア

⑥どのような町になったらいいか

⑦その他

日程：6月29日～7月末予定（7月21日時点で15の町内会・自治会で実施済み）

宿河原町会、メゾンドール多摩川管理組合、登戸南町会、長尾町会、登戸下河原町会、多摩新町自治会、登戸台和町会、登戸新川町会、宿河原東住宅自治会、登戸南武町会、宿河原5丁目町会、登戸多摩川町会、登戸東本町会、登戸中部町会、宿河原4丁目町会（実施順）

調査結果の抜粋：

【共通する取組】

見守り活動、防災訓練、美化活動、盆踊り・お祭り

【個別の取組】

害虫駆除、空き家調査、町会活動の広報誌発行、青パト防犯パトロール、子ども会や老人クラブとの連携、子育て世代向けの行事開催、福祉部新設、会館の建て替え、ゴミ集積所の改修

【共通する課題】

高齢化、後継者不足、活動場所不足、外に出ない人の対応、会員の情報把握

【個別の課題】

交通不便地域、公園が少ない、区画整理事業による人の出入り、集合住宅の住民の割合高い

2. 生田地区の取組について

平成29年2月6日、生田地区町会連合会の町会・自治会長会議において、地区担当の保健師を交え地域の実情・課題に関する意見交換会を実施しました。そこで出た意見や抽出された課題をもとに生田地区全体で地域包括ケアシステムの普及啓発を進めて行きます。

町内会・自治会会長や町内会・自治会から推薦を受けた人を対象にワークショップを開催します。多くの地域で共通するテーマについて議論を深め、区域をまたいだ町内会・自治会同士の連携や各地域内での人材の発掘、既存活動同士の連携強化など複合的な効果を期待します。また、成果を次年度につなげ、生田地区での地域づくりに継続性をもたせます。

(平成29年2月6日の町会・自治会長会議での主な意見)

- ・高齢者対策・・・地域での見守り活動、認知症対応、高齢者の外出促進
- ・地域内での支え合いのしくみ・・・地域通貨の活用、簡単な家事支援
- ・担い手不足の課題・・・輪番制の課題、団塊の世代の参加促進、子ども・学生の参加

(ワークショップ概要)

第1回目（9月予定）：事例紹介による情報交換、テーマ別での地域課題の検討

↓

第2回目（11月予定）：近隣町会を集めエリア別の検討

↓ ※個別相談会を開催（1月予定）

報告会（2月予定）：生田地域全体の課題、解決の方針、取組み事例の報告

3. 中野島地区の取組について

(あいさつ運動)

- ・学校を中核拠点とした運動の展開

小中学校と駅前に横断幕の掲示、入学式でのあいさつ運動、登下校の見守り活動におけるグッズ使用、PTA 運営委員会でPR

※今秋からは授業に取り入れられる

(多世代交流の場づくり)

- ・まち・人・くらしプロモーター第二期研修（6月7日～） 申込者14名
- ・上布田カフェ 6月から毎月1回のカフェイベントを実施。
初回（6月7日）は約30名（うち、子育て世代5組）が参加。
- ・中野島音楽祭にて多世代でのノルディックウォークの体験会を実施予定。